



●●●●●●●●●● 健康セミナーを実施して ●●●●●●●●●●

財団法人 佐賀県消防協会

1 はじめに

佐賀県は、北部九州に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接し、北は玄界灘（日本海）、南は内海の有明海に面しています。北の玄界灘は波が荒く男性的ですが、有明海は女性的な印象です。有明海は干満の差が日本で最大5メートルにも達し、大潮のときははるか5km沖まで干潟が姿を現します。また、有明海は海苔の栽培が盛んで、佐賀県は連続して生産高日本一を続けています。生き物もユニークで、特にムツゴロウが有名です。

歴史的には、大陸に近いことから古くから開けており、昭和から平成にかけて、邪馬台国を思わせるような大規模な弥生期の遺跡である吉野ヶ里遺跡が発見され、全国的に古代史ブームを巻き起こしました。現在では、国営吉野ヶ里

歴史公園として整備され各地から多くの人を訪れています。また、幕末明治維新のときには、長崎の防衛を勤めていたこともあって、外国事情に触れる機会も多く名君鍋島直正（閑叟）公のもと藩を挙げて近代化に取り組み、薩長土肥の一角を占めるとともに、早稲田大学の創設者でもある大隈重信はじめ多数の偉人を輩出し、日本の近代化にも大きな役割を果たしました。

2 当協会の設立と事業概要

当協会は、消防団職員の福祉厚生等を図るとともに、消防思想を普及徹底し、社会の安心・安全に寄与することを目的に昭和23年4月に法人化されました。平成21年10月1日現在の会員数は、20,897人で、そのうち消防団員が19,834人（女性消防団396人）となっています。



分かりやすく講演される日本赤十字社佐賀県支部の大明先生

平成21年度の消防団員数は、平成20年度に比べ一部の消防団で若干増加しましたが全体的には毎年減少を続けており、消防団員の確保が大きな課題となっています。

そのような中、最近では、地球温暖化の影響による天候不順やゲリラ的な集中豪雨、竜巻被害など各地で思いがけない災害が頻繁に発生するようになりました。本県においても平成21年7月末には、中国・北部九州を襲った豪雨により一部では河川の氾濫が発生する事態となりましたが、消防団により迅速で適切な対応がされ、被害を最小にとどめることができました。今後も、各種の災害発生が予想される今日、消防団に対する県民の期待は大きなものがあります。

3 健康セミナー開催に至った経緯

今日、生活習慣病の予防は、全ての人にとっての関心事であり、消防団員にとっても、日常から健康的な生活を送ることはもとより、消防活動のためにも焦眉の課題であるとの認識から、かねてから健康問題に関する研修の必要性

を感じていました。

消防基金の公務災害防止研修事業については、6年ほど前に消防団長を対象に安全管理セミナーを実施したことがあり、また、例年送付されるパンフレットから事業内容については把握していたので、今回は、「健康セミナー」の開催を計画しました。

平成22年2月7日（日）に開催した「健康セミナー」は、佐賀県女性消防団員活性化セミナーと併せて開催しました。というのは、生活習慣病はその名のとおり日頃の食生活や運動不足が原因ですが、女性消防団員は家庭の主婦が多く、家族の健康管理の要でもある女性消防団員が、健康問題について改めて話を聞き考えることは有意義であり、かつ、女性消防団員のほかにも消防団の幹部団員など多くの消防関係者が参加する機会でもあるからです。また、女性消防団員が健康に関する知識を蓄えることが消防団員全体の健康管理の一助にもなるのではとも考えました。

ここで、若干、佐賀県女性消防団員活性化セ



会場内に掲示した消防基金のポスター

ミナーのことについて、触れてみたいと思います。このセミナーは、消防団活動における女性消防団員の重要性に着目して、女性消防団員の活動のあり方等を考えるために県内の女性消防団員が一堂に会し、日ごろの活動状況の発表や情報交換を通じ互いに刺激しあい切磋琢磨することにより消防団活動がより活性化することを願い、都道府県レベルではいち早く平成14年2月に第1回目を開催して以来、今年で9回目を数えました。午前中、開会式と第1部の「消防団員健康セミナー」、午後第Ⅱ部の女性消防団員による活動報告の順序で開催しました。

4 健康セミナーを実施して

「生活習慣病の予防について」の演題で実施した健康セミナーを、自分たちに身近な事柄であるだけに女性消防団員をはじめとする参加者は、講師の日本赤十字社佐賀県支部の町幸子先生の実技を交えたわかりやすい講演を熱心に聞き入っていました。特に、今回は多くは家庭の主婦でもある女性消防団員が参加者のメイン

であったので、食事療法や塩分摂取の話などは興味深い話題であり、日常生活の改善につながると思われます。参加者からのアンケートでも、「話を聞いてよかった。今後の暮らしに役立たい。」などの回答が多く寄せられました。

5 今後の取り組み

今回、「健康セミナー」は大変有意義で、参加者にも好評であったので、今後もいろいろな機会に開催を計画したいと思います。また、消防基金の公務災害防止研修事業については、昨年度は、今回の「健康セミナー」のほかに9月に部長以上の幹部職員を対象に「安全管理セミナー」も開催し、大変お世話になっております。

佐賀県消防協会としては、今後とも消防基金の事業を積極的に活用し、消防団員の健康管理、安全管理に役立てていきたいと考えており、早速、来年2月の第10回佐賀県女性消防団員活性化セミナーにおいては、「安全管理セミナー」の同時開催を計画しています。



講師の話に熱心に聞き入る参加者



健康セミナーには多数の参加者がありました